

各 位

2022年12月15日  
株式会社 山と溪谷社

<https://www.yamakei.co.jp/>

あなたも新種を発見できる！ 21人の新種発見のエピソードを収録した、生物観察の夢が広がる『新種発見！ 見つけて、調べて、名付ける方法』発売

インプレスグループで山岳・自然分野のメディア事業を手がける株式会社山と溪谷社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：二宮宏文）は、2022年12月17日に『新種発見！ 見つけて、調べて、名付ける方法』（馬場友希、福田宏：編著）を発売します。



意外と身近な「新種発見」。

どこでも誰でも、新種を発見できる！

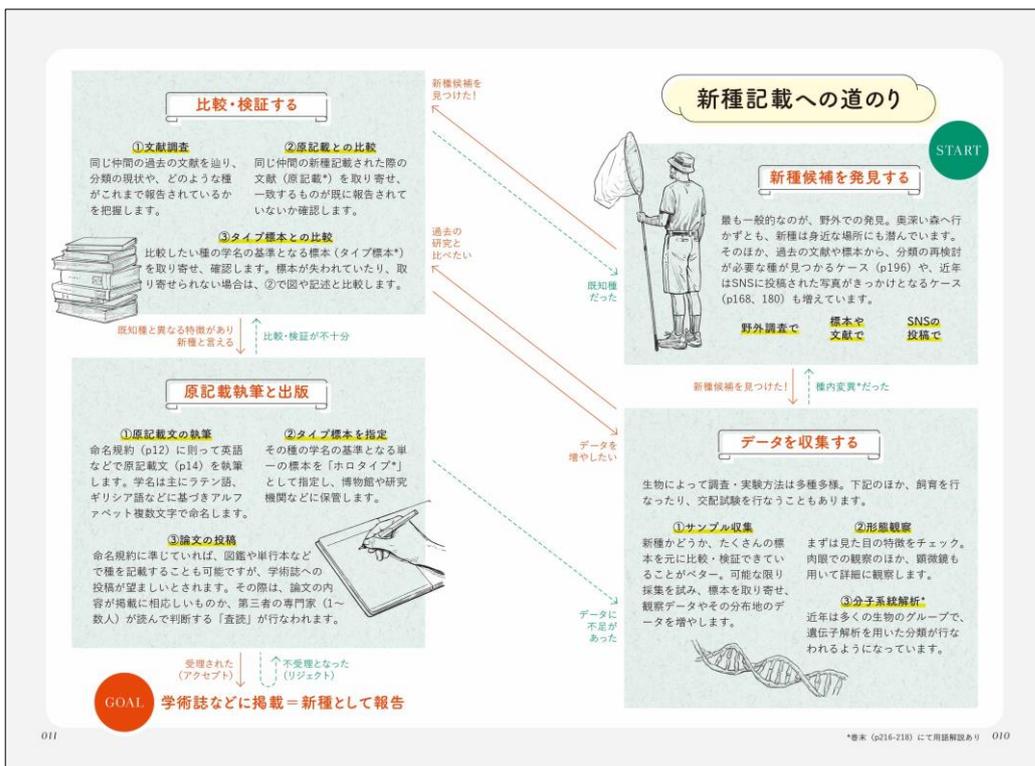
実は生物の新種は、私たちが気付いていないだけで身近な場所にもまだまだたくさん潜んでいます。本書では、21人の日本国内における新種発見のエピソードを紹介しました。新種発見者は分類学者のほか、生態学や遺伝学を専門とする大学研究者、博物館の学芸員、4歳児など、専門分野も職業もさまざま。エピソードの舞台は、南は南西諸島から北は北海道まで、そして自宅の駐車場や近所の公園、博物館の展示、SNSの投稿写真、web上のデータベースや文献といった身近な場所での新種発見も多数収録しています。

取り上げる生物は昆虫、クモ、貝類、魚類、鳥類、植物、菌類、恐竜やアンモナイトなど多種多様。調査や実験の手法も生物ごとに異なります。学术论文では語られない新種発見の裏話は、執筆者の生物への熱い想いに溢れ、発見の瞬間の興奮を読者が追体験することができます。

## 専門用語はやさしく解説。

## 新種を見つけて、調べて、名付けるための基礎知識が身に付く！

巻頭では、新種の発見から記載までのフローチャートや、記載論文の内容解説など、新種記載にまつわる基礎知識を解説しました。またエピソードに登場する専門用語は、巻末に用語集を設け、専門家の監修のもとで解説しました。中学、高校での生物の授業では触れられない、生物観察を行なう上で知っておきたい、分類学の基礎知識を身につけることができる一冊となっています。



太平洋戦争末期の日本の軍部、政府そして昭和天皇の状況を史実に基づいて描いたものでした。私は作品の完成度の高さに引き込まれ、退屈せずに観続けました。

物語の背景は日本人なら誰もが知る歴史です。映画では中盤で、連合国に降伏を迫られて極限状況に追い込まれた日本の首脳の描写がなされ、やがて8月9日10日未明にかけての御前会議で、本木雅弘が熱演する昭和天皇がボツダム宣言受諾を決定する光景が現れます。その翌11日、その決定を不服として、東條英機陸軍大将が、天皇に降伏を翻意させるべく宮中に単身乗り込み、反対意見を奏上します。その場面で東條が放った台詞は「陛下のお好きな生物学に例えて言えば、軍はサザエの殻と申し上げてもいいのであります。殻を失ったサザエは、その中身も、死なないうわけには



参りませぬ!」でした。

それまですっかりラックスしていた私は「何? 今サザエって言ったか?」と感覚のギアがにわかには上がり、貝類分類学者の「職業病」というほかありません。天皇が何と答えるか集中しました。ところが天皇の返答は、作中の東條にも私にとっても、想像の遠か斜め上をいく予測不能なものでした。天皇は激怒してこう言うのです。「サザエは学名をトゥルボ・コーニエツタスとい、18世紀に英国のジョン・ライフトット尊師が命名したのだ。お前はチャーチル首相がサザエを食す姿を想像できるか。スターリン元帥もトルーマン大統領も、サザエは殻ごと捨てるだろう!」

何と、サザエの学名と、それをいつ、この誰が命名したかという、普通なら貝類分類学者しかしないような発言が飛び出たのです。叱られた東



発見した人 | 福田 宏 | 南山大学学術研究院 獣医生命科学学専攻

突如映画に登場したサザエ

2016年8月14日夜のことでした。文字どおり盆も正月もない生活の私は、平常運転で研究室の標本や文献をいじった後、20時55分頃帰宅しました。時間を今も正確に覚えているのは、そのタイムングこそが、サザエと私の運命を交えた要因の1つだからです。

私はいつもどおり、自室の灯りに続けてテレビを点けました。チャンネルは、たまたまその日の朝に観ていたテレビ朝日系のままになっていました。画面に「映画『日本のいちばん長い日』この後すぐ!」との番宣が現れたので、私は「なら観るか」と横になりました。

始まった映画「原田眞人監督・脚本は、1945(昭和20)年春から8月15日の終戦前後まで、

1. *T. japonicus* のタイプ標本 (セーリシヤス産) の写真。2 スケッチ。(Reeve 1848)\*

2

3. *T. japonicus* のタイプ標本 (シーボルト採集の無縁型のサザエ) の写真。4 スケッチ。(Reeve 1848)\*

4

標本が増え続け、全く片付きません

\* copyright of the Natural History Museum, London; taken by Harry Taylor of NHMUK Photographic Unit

研究室には幼少期から集めた多数の貝殻標本が保管されている。

では、中身の確認は極めて困難だったのです。

ではサザエの適切な学名は何なのでしょう? 私は18世紀後半以降の *Turbo cornutus* が登場する全文献の見直しを余儀なくされました。しかし、どの文献を見直しても肩の棘が短くて複数あり、中国産であること記されています。つまり例外なくナンカイサザエで、サザエはなかなか登場しません。初めて西洋の文献にサザエが現れたのは、イギリス人リーゾの1848年の図譜 *Conchologia Linnica* であり、その図は紛れもなく我々がよく知るサザエですが、学名は *T. cornutus* と誤同定されており、こここそが最近まで連続と続いていた混乱の源流でした。

さらに、このリーゾの本には奇怪な図と記述が掲載されています。 *Turbo japonicus* という学名とともに2つの図があり、その一方は日本のサザ

エの無縁型で、シーボルト採集と記されています。ところがもう1つの図は似ても似つかぬもので、日本のどこを探してもこんな種は産出しません。つまりリーゾは、日本のサザエと、サザエとは異なる種に對して、同じ学名 *T. japonicus* を同時に与えてしまったわけですね。これはいわゆる、ホモニム(異物同名)「Peele」です。

同一文献で複数の名が同時に記載された場合(今回は2つの異なる *T. japonicus* が同時に記載されている。綴りは同じでも、指示対象の種がそれぞれ異なるので学名は2個)、どちらが優先されるかは、その後に刊行された文献のうち、最初にどちらかを選んだ著者の決定に基づく、と国際動物命名規約で定められています。それに相当するのがキーンラーとフィッシャーによる1873年刊行の書籍で、リーゾの2つの図のうち、日本に

**【目次】**  
 新種発見って何だ?  
 新種記載への道のり/学名・和名とタイプ標本/記載論文徹底解剖/ 新種は「記載」されるもの  
**chapter 1 陸地で発見!**  
 新種との出会いは突然に ババハシリグモ (馬場友希)

南の島で見つけた宝石 ベニエリルリゴキブリ (柳澤静磨)  
アパートの駐車場にいた最強生物 ショウナイチョウメイムシ (荒川和晴)  
光合成も開花もやめた植物 タケシマヤツシロラン (末次健司)  
冬虫夏草少年の直感 クサイロコメツキムシタケ (山本航平)  
さえずりと DNA の違いが導いた発見 コムシクイ・オオムシクイ・メボソムシクイ (齋藤武馬)

## chapter 2 水辺で発見!

4 歳児が発見!? ごま粒大の新種 チゴケスベヨコエビ (森久拓也/有山啓之)  
魚を採ったらくっついていたら! オシリカジリムシ (是枝伶旺/上野大輔)  
子どもの頃に抱いた“違和感” オオヨツハマガニ (大土直哉)  
海を越えた連携プレー カクレマンボウ (澤井悦郎)  
幻の新種となった深海魚 エピゴヌス・オカモトイ (岡本 誠)  
“ドジョウの泥沼”に踏み込む シノビドジョウ (中島 淳)

## chapter 3 こんなところで発見!?

60 年越しの卵のバトン ムルティフィスウーリトゥス・シモノセキエンシス (今井拓哉)  
後輩に手渡されたエレガントな化石 エゾセララス・エレガンス (相場大佑)  
大掃除中、標本箱から発見! ニセコウベツブゲンゴロウ/ヒラサワツブゲンゴロウ (渡部晃平)  
「Twitter」という学名を持つダニ チョウシハマベダニ/イワドハマベダニ (島野智之)  
Twitter で出会えた憧れの存在 アイヌホソカタカイガラムシ (田中宏卓)  
博物館での出会いがきっかけに ダイダイマダラウミヘビ (日比野友亮)  
映画のセリフに隠れていた真実 サザエ (福田 宏)

新種発見! 裏話座談会/分類学用語集/おわりに

### 【書誌データ】

書名: 新種発見! 見つけて、調べて、名付ける方法

編著者: 馬場友希、福田 宏

発売日: 2022 年 12 月 17 日

ISBN : 978-4635063203

体裁: 四六判・224 ページ

価格: 1,870 円(本体 1,700 円+税 10%)

<https://www.yamakei.co.jp/products/2822063200.html>

### 【編著者略歴】

#### 馬場 友希 (ばば・ゆうき)

1979 年福岡県生まれ。昆虫写真が趣味の父の影響により、幼少のころより生き物に興味を持つ。  
2002 年九州大学理学部生物学科卒業、2008 年東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻博士課程修了。博士 (農学)。国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門・上級研究員。

#### 福田 宏 (ふくだ・ひろし)

1965 年山口県生まれ。物心ついたころから貝類の採集に没頭。博士 (理学)。岡山大学農学部助教授を経て、2007 年より岡山大学学術研究院環境生命科学学域 (農学系) 水系保全学研究室准教授。分類学者として多くの貝類の新種を記載する傍ら、環境省レッドリスト・レッドデータブックの編纂や軟体動物多様性学会の運営にも携わっている。軟体動物多様性学会の Twitter アカウントの中の人として、貝類の分類、生態、保全について発信中。

【山と溪谷社】 <https://www.yamakei.co.jp/>

1930年創業。月刊誌『山と溪谷』を中心に、国内外で山岳・自然科学・アウトドア等の分野で出版活動を展開。さらに、自然、環境、ライフスタイル、健康の分野で多くの出版物を展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社山と溪谷社 担当：白須賀

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング

TEL03-6744-1900 E-mail: [info@yamakei.co.jp](mailto:info@yamakei.co.jp)

<https://www.yamakei.co.jp/>